

大学院教育学研究科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

畿央大学大学院教育学研究科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を開設するとともに研究指導計画を策定し、体系的な教育課程を編成する。教育課程編成にあたって、専攻分野に関する高度の専門的知識・技術および能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する基礎的素養を涵養する。これらの教育課程を通じて、基準を満たす修士論文を完成させる。

1. 広い意味での教育に携わる高度専門職業人としての倫理観と使命観を持って職務を遂行する資質を養うために、教育学、心理学、道徳、美学の各分野・領域の研究者によるオムニバス講義「美しく生きるための教育学総合特論」を必修科目とする。
2. 地域の教育課題に取り組む際に必要な教育実践力、組織運営力、コミュニケーション・スキルを培うために、「教育課程・評価」「学級経営・評価」「学校経営・評価」「生徒指導」「発達障害」「障害児教育」「学校保健・学校看護」「カウンセリング」「運動と栄養」の内容に関する科目を配置する。
3. 現代の教育課題解決に取り組むための高度な知識・技術と柔軟な思考力を身につけられるように、専門科目において教育学各分野に関する特論科目、「ICT 応用演習」などの演習科目を設置する。
4. 「実践知」と「理論知」を架橋し「臨床知」へと発展させることができるように、「専門基礎科目」と「専門科目」の2つを柱として体系的に科目を配置する。
5. 現代の教育課題や教育ニーズについて理解し、教育実践力や実践的指導力を理論的・科学的に裏づけられた「臨床知」としていくための科目として、「教育実践課題演習」を必修科目とする。
6. 修士論文執筆に不可欠な学術論文の読み方および書き方などの基礎的な技能について学ぶために、「論文演習」を必修科目とする。
7. 少人数によるゼミ形式の授業や一貫した研究指導を通じて、高度な教育研究を行う教員として必要とされる研究能力や研究マインドなどの諸能力を着実に身につけ、修士論文を完成させるために、「演習」および「特別研究」を必修科目とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

畿央大学大学院教育学研究科では、現代社会が直面する教育の諸問題への対応や、新たな実践的諸課題に対し、高度な専門的知識・技術や研究能力を培い、地域と協働しながら、課題の解決をはかる人材を育成する。従って、本研究科における学修・研究で以下のような能

力を身につけ、修業年限以上在籍したうえで、所定の単位を修得し、基準を満たす修士論文を提出した者に修士の学位を授与する。

1. 広い意味での教育に携わる高度専門職業人としての倫理観と使命観を持って職務を遂行する資質を備えている。
2. 様々な人間関係のなかで、良好なコミュニケーション・スキルを持って信頼関係を築く力を有している。
3. 現代の教育課題解決に取り組むための高度な知識・技術と柔軟な思考力を有している。
4. 経験で培われた「実践知」と大学で創出される「理論知」を架橋し、理論的・科学的裏づけを持った「臨床知」へと発展させるための基礎的な研究能力を有している。
5. 生涯にわたって自律的に学び続ける自己教育者として、グローバルな視座に立って、地域の教育課題を的確に把握し、その改善・発展に貢献するための力を備えている。